

令和6年4月5日

富士市立中央病院 初となる「救急専門医」の配置について

富士市立中央病院では、東京慈恵会医科大学所属の救急専門医を配置することになりました。昭和59年の開設以来、初めてのこととなります。

これにより、中央病院における救急医療の更なる充実が期待されます。

記

- 1 勤務開始 令和6年4月4日（木）から週1回
- 2 場 所 富士市立中央病院（富士市高島町50番地）
救急外来
- 3 派遣元大学 東京慈恵会医科大学救急医学講座
- 4 中央病院の概要 開設日／昭和59年8月28日
許可病床数／520床
（一般病床504床、結核病床10床、感染症病床6床）
基本方針／(1)高度・専門医療の提供
(2)二次救急医療体制の充実
(3)地域医療連携の推進
(4)災害医療体制の整備
(5)次世代の医療を担う人材育成

救急専門医とは

疾病の種類に関わらず、救急搬送患者を速やかに受け入れて初期診療に当たり、必要に応じて適切な診療科の医師と連携し、迅速かつ安全に診断・治療する救急医療のスペシャリストです。

なお、救急専門医は、救急医療に課題のある富士市にとって待望の人材です。

問合せ 中央病院事務部病院総務課
電話／0545-52-1131 内線 2214
FAX／0545-51-7077
e-mail／ch-soumu@div.city.fuji.shizuoka.jp